

毎月勤労統計調査地方調査結果 [福岡県] の概要 (平成18年7月分)

主なポイント

〔前年同月比でみて〕

- ・ きまって支給する給与はやや増加
- ・ 所定外労働時間は増加
- ・ 常用労働者数はやや増加

1 賃金の動き

常用労働者の一人平均の現金給与総額は、全規模の調査産業計で389,152円、前年同月比3.1%の減となった。(規模30人以上では465,927円、0.6%減)

(1) 所定内給与

全規模	235,380円、	0.6%増
規模30人以上	263,283円、	1.2%増

(2) きまって支給する給与：所定内給与と所定外給与をあわせたもの

全規模	250,151円、	0.6%増
規模30人以上	283,500円、	1.1%増

- ・ きまって支給する給与が増加した産業(全規模)
医療、福祉 5.8%増、 サービス業(他に分類されないもの) 5.4%増
- ・ きまって支給する給与が減少した産業(全規模)
金融・保険業 9.4%減、 飲食店、宿泊業 7.5%減

(3) 特別に支払われた給与

全規模	139,001円	9.3%減
規模30人以上	182,427円	3.0%減

(4) 実質賃金：現金給与総額を消費者物価指数で除した額

全規模	3.7%減
-----	-------

2 労働時間の動き

一人平均月間実労働時間は、全規模の調査産業計で153.0時間、前年同月比0.8%の増となった。(規模30人以上では155.8時間、0.8%増)

(1) 所定内労働時間

全規模	143.7時間、	0.6%増
規模30人以上	144.7時間、	0.3%増

(2) 所定外労働時間

全規模	9.3時間、	5.6%増
規模30人以上	11.1時間、	6.7%増

- ・ 所定外労働時間が増加した産業(全規模)
不動産業 8.0時間、 207.7%増
建設業 9.7時間、 49.4%増
- ・ 所定外労働時間が減少した産業(全規模)
教育、学習支援業 3.0時間、 26.8%減
複合サービス事業 6.8時間、 21.8%減

3 雇用の動き

常用労働者は、全規模の調査産業計で1,588,675人、前年同月比0.8%の増となった。

そのうち、パートタイム労働者は424,097人で、26.7%(男性労働者のうち13.6%、女性労働者のうち42.7%)を占めており、この比率は前年同月から変化はなかった。

- ・ 産業別パートタイム労働者の占める割合(全規模)
飲食店、宿泊業 81.5%
卸売・小売業 40.4%
サービス業(他に分類されないもの) 28.0%

* 注意

・ 増減率はすべて前年同月比である。なお、日本標準産業分類の改訂による産業分類内容の変更に伴い、増減率は産業分類により、計算方法が異なる。

「TL 調査産業計」、「F 製造業」は、平成16年1月分以降の指数を修正し指数比較で計算。
「E 建設業」、「G 電気・ガス・熱供給・水道業」は、平成15年以前の指数にそのまま平成16年の指数を接続させて、指数比較で計算。

その他の産業大分類(「H 情報通信業」、「I 運輸業」等)は、指数の作成ができないため実数比較により計算。